



加島五千石総鎮守

米之宮浅間神社

社報

令和4年
夏号
7月1日発行

疫病終息

旧・七夕まつり

身体健全



7月15日～8月15日

短冊記入は社務所まで

祈りを込めて

日本には、数多くの年中行事がありますが、その中でも夏といえばお盆が有名です。お盆は、日本固有の先祖まつりが元となっていますが、仏教の影響で先祖供養を仏式で行う様になつた歴史があることから、現在もお盆は仏教行事であると誤解されてしまっています。仏教でいうお盆とは、孟蘭盆会のことを指し、地獄で苦しみを受けている人々を、現世から供養する功徳によって、その苦しみを救う行事のことです。しかしながら、多くの方は、ご先祖様を前にしてお祈りするときは、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と、感謝の気持ちを伝えることが多いのではないかでしようか。感謝の気持ちを持つてお参りすることこそが、日本古来の考え方、つまり神道的な考え方である「敬神崇祖」となります。記紀神話においても、皇祖の御靈をおまつりした記述があり、現在も宮中では、歴代天皇の御靈をまつる「春季・秋季皇靈祭」が執り行われています。現在の日本のお盆は、仏教の供養と神道の祖靈祭祀が結びついて、ご先祖様をおまつりする形となつています。

長らく続いていたコロナ禍も収束の兆しが見え、お盆を機に一家一同集まって、ご先祖さまにお祈りし、日々の感謝を伝えてみてはいかがでしようか。

神輿について

神輿とは、みたま神靈を奉安する輿のことをいいます。全国の神社では、多くの祭礼が行われており、その中でも神輿の渡御は、担ぎ手はもとより、大勢の見物人までが一体となる重要な神事です。奈良時代には既に神輿が作られていました記録もあり、室町時代では、各地で神輿が担がれていたと言われています。

神輿を担ぐことで、神と人はもちろんのこと、人と人の関係を結び付けることにもなるのです。



疫病神について

疫病神とは、病気など様々な災厄をもたらす神で疫神、厄神とも言われています。疫神に対する信仰は古くからあり、災いをもたらす靈魂を神靈として丁重に鎮め祀ることにより、災厄を防ぐ靈威ある神へと変わるとされてきました。神社では鎮花祭など疫病神を鎮めるお祭りも多くあります。

一年の災厄を祓う為、正月に厄神詣として厄神を参詣する風

習があつたのはまさしくこうした信仰によるものです。



疫病神には、靈力が宿り口に出すことによってその力が發揮されるという言霊の信仰がありました。神社にお参りした際に具体的な願い事を出して唱えるのも、このような信仰に基づくものです。

神社の豆知識 唱え詞について

神社に参拝するときや、神棚を拝むときの唱え詞に、「祓え給い、清め給え、神ながら守り給い、幸え給え」(お祓いください、お清めください、神様のお方によりお守りください、幸せにしてください)というものがあります。神道では、祓い清めが信仰的にも神様に近づくための大好きな行いとなっているからです。古来、

言葉には、靈力が宿り口に出すことによってその力が發揮されるという言霊の信仰がありました。神社にお参りした際に具体的な願い事を出して唱えるのも、このような信仰に基づくものです。

神社からのお願い

神社では感染予防に対し様々な取り組みを行なっています。是非清々しい気持ちで神社にお参りして戴く為に、皆様におかれましても感染症対策に十分に気を付けて戴くようお願い申し上げます。



神社や神道について詳しくは
こちらのQRからご覧ください。

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。
ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡先 **米之宮浅間神社 社務所**

十四一六一〇九〇六 静岡県富士市本市場五八二

八〇五四五(六二)〇八一七

四〇五四五(六二)〇八二九